

ITプロ/ITエンジニアのための

徹底攻略

試験番号

98-349

MTA [98-349]対応

Windows OS

問題集

株式会社ソフィアネットワーク 新井慎太郎 著

株式会社ソキウス・ジャパン 編

インプレスジャパン

本書は、「MTA Windowsオペレーティングシステムの基本事項」試験の受験対策用の教材です。株式会社インプレスジャパンおよび著者は、本書の使用による「MTA Windowsオペレーティングシステムの基本事項」への合格を一切保証しません。

本書の内容については正確な記述につとめました。著者、株式会社インプレスジャパンは本書の内容に基づく試験の結果にも一切責任を負いません。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他、本文中の製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

インプレスジャパンの書籍ホームページ

書籍の新刊や正誤表など最新情報を随時更新しております。

<http://www.impressjapan.jp/>

Web徹底攻略

試験や資格の最新情報や模擬試験などが体験できる資格関連書の専用サイトです。

<http://shikaku.impress.co.jp/>

Copyright © 2013 Socius Japan, Inc. All rights reserved.

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

はじめに

MTA (Microsoft Technology Associate) は、2012年にスタートした、マイクロソフトの新しい認定資格です。ITプロフェッショナルを目指す学生・新入社員や、これまでIT技術にあまりなじみのなかった方が取り組みやすい資格として誕生しました。

日本では、MCA (Microsoft Certified Associate) という、ITの根幹となる技術の基礎力を問う資格がありますが、MTAは、より広い技術分野をカバーし、ワールドワイドで通用する資格にグレードアップしたものです。

「システム管理者向け」「データベース開発／管理者向け」「開発者向け」という3つのトラックから構成されており、目指す技術分野に合わせて科目を選択できます。

本書は「システム管理者向け」トラックの「MTA Windows オペレーティングシステムの基本事項」(試験番号98-349)のための学習問題集です。

執筆にあたっては、初心者の方でも無理なく学習していただけるよう、各機能を利用するシチュエーションや利用目的に重点を置いた解説を心がけました。各要素の利用時における注意点などにも言及しているため、システム管理者だけでなく、ヘルプデスクの業務を担当する方のスキル向上にも役立ちます。また、正解の解説だけでなく、なぜ誤りなのかという点も理解できるよう誤りの選択肢についても解説していますので、問題を解き、解説を読み進めていただくことで、オペレーティングシステムの基礎知識が無理なく身に付くだけでなく、試験に備えての応用力を培うことができます。

本書を活用し、より多くの方がMTA資格を取得なさいますこと、また、Windowsオペレーティングシステムのおもしろさを味わってくださいますことを祈念いたします。

2013年10月

著者

MTAについて

Microsoft Technology Associate (MTA) は、マイクロソフトの新しい認定資格です。ITプロフェッショナルを目指す学生や、技術以外の部門の方が、さまざまなIT分野の基礎となる技術を学習するための最初のステップとして最適な構成になっています。

同じくマイクロソフトが主催するMCP (Microsoft Certified Professional) はベンダー系のIT資格として高い支持を得ていますが、主に現役で活躍するエンジニアを対象としたもので、初心者にはハードルが高いものでした。日本では学習やキャリアをスタートしたばかりの初学者向けに、MCA[※] (Microsoft Certified Associate) というITの根幹となる技術の基礎力を問う資格がありますが、MTAはより広い技術分野をカバーし、ワールドワイドで通用する資格にグレードアップされたものです。

※MTAの登場によってMCAはその役割を終え、2013年12月末で終了します。

MTAは目標とする技術分野別に3つのトラックに分かれており、それぞれの資格を取得することで、上位のMCP資格取得のための基礎力を培うことができます。

●システム管理者向けトラック

デスクトップまたはデスクトップ/サーバー管理者やプライベートクラウドコンピューティングの技術者を対象としたトラックです。

構成科目は以下の4つです。

- ・ Windowsオペレーティングシステムの基本事項 (98-349)
- ・ Windowsサーバー管理の基礎 (98-365)
- ・ ネットワークの基礎 (98-366)
- ・ セキュリティの基礎 (98-367)

●データベース開発・管理者向けトラック

データベースの開発・管理者や経営情報システム (ビジネスインテリジェンス) 技術者を対象としたトラックです。

以下の1科目のみから成ります。

- ・ データベースの基本事項 (98-364)

●開発者向けトラック

WindowsアプリやWebアプリの開発者、アプリケーションライフサイクル管理技術者を指す人を対象としたトラックです。

構成科目は以下の7つです。「ソフトウェア開発に関する基本事項 (98-361)」から取得を開始し、目標に沿って科目を選択していきます。

- ・ソフトウェア開発に関する基本事項 (98-361)
- ・Windows開発に関する基本事項 (98-362)
- ・Web開発に関する基本事項 (98-363)
- ・Microsoft.NETの基礎 (98-372)
- ・モバイル開発に関する基本事項 (98-373)
- ・ゲーム開発に関する基本事項 (98-374)
- ・HTML5 アプリケーション開発に関する基本事項 (98-375)

【MTAシステム管理者向けトラックのキャリアパス】

MCP



MTA



「MTA Windowsオペレーティングシステムの基本事項」の試験トピック

●オペレーティングシステムの構成

コントロールパネルのオプションの構成 管理ツールの構成、ユーザー補助オプションの構成
デスクトップ設定の構成 ガジェットの構成、プロファイルの構成、ディスプレイ設定の構成、ショートカットの構成、Aeroの構成と機能
ネイティブアプリケーションとツール Windows Internet Explorer、Snipping Tool、Windows Media Player、Windows Media Center、msconfigの理解
モビリティ 同期センター、Windowsモビリティセンター、リモートデスクトップの理解
リモート管理とリモートアシスタンス MMCとWindows PowerShellの理解

●クライアントシステムのインストールとアップグレード

Windowsオペレーティングシステムのエディション システム要件の確認、PCのアップグレードアドバイザーの使用
アップグレードパス Windows XPやWindows Vistaなどのオペレーティングシステムのアップグレードパスの確認、アプリケーションの互換性の確認
インストールの種類 リムーバブルメディアのインストール（DVD、ZTI、LTI、USB）の理解、クラウドやネットワークでのインストール、プロダクトキーの理解
仮想化されたクライアント Windows XPモードの理解、リモートデスクトップの理解、リモートデスクトップサービスの理解

●アプリケーションの管理

アプリケーションのインストール ローカルアプリケーションとネットワークアプリケーションの理解、グループポリシーの理解、アプリケーションの削除の理解
ユーザーアカウント制御（UAC） 標準ユーザーと管理者ユーザーの理解、UACの確認メッセージとレベルの理解
悪意のあるソフトウェアの削除 Windows Defender、アクションセンター、悪意のあるソフトウェアの削除ツール、Windowsレジストリ、Microsoft Forefront Endpoint Protectionの理解
サービス サービスのスタートアップの種類、サービスアカウント、サービスの依存関係の理解
アプリケーション仮想化 MED-VとVDIの理解

●ファイルとフォルダーの管理

ファイルシステム FAT、FAT32、NTFS、32ビットと64ビットの理解
ファイルとプリンターの共有 NTFSと共有アクセス許可、ホームグループ、プリンタードライバー、有効なアクセス許可の理解、パブリック共有、基本的な共有、詳細な共有の作成、ドライブのマッピング
暗号化 BitLocker、暗号化ファイルシステム（EFS）、圧縮の理解
ライブラリ オフラインファイルの理解、複数のローカルの場所のライブラリへの追加、ネットワーク上の場所の追加

●デバイスの管理

デバイスの接続 プラグアンドプレイのデバイスの接続、プリンターの接続と切断、デバイス用のサードパーティ製ソフトウェアのインストール
記憶域 ディスクの種類（NTFSやFATなど）、セキュリティ（暗号化）、記憶装置の種類（eSATA、USB、USB 2.0、IEEE 1394、iSCSI）、記憶域ドライブの種類（ベーシック、プライマリ、拡張、論理、ダイナミックディスク、VHD）、クラウドストレージ（Windows Live SkyDrive、OneNoteからSkyDrive、Live Mesh）の理解
印刷デバイス ローカルプリンター、ネットワークプリンター、印刷キュー、ファイルへ出力、インターネット印刷の理解
システムデバイス ビデオ、オーディオ、赤外線入力デバイスの理解、デバイスマネージャーの理解

●オペレーティングシステムの保守

バックアップ方法と回復方法 ローカルバックアップ、オンラインバックアップ、自動バックアップの方法の理解、バックアップオプションの理解、システムの復元、回復のブートオプション（前回正常起動時の構成など）、さまざまなセーフモードオプションの理解
保守ツール ディスクデフラグツール、ディスククリーンアップ、タスクスケジューラ、アクションセンター、システム情報の理解
更新プログラム Windows Update、Microsoft Update、修正プログラムの理解

受験申し込み方法

MTA試験は、プロメトリック株式会社Webサイト、または電話で申し込みます。

●プロメトリック株式会社（一般・法人対象）

URL <http://it.prometric-jp.com/testlist/mta/index.html>

Tel 0120-347-737(9:00～18:00、土日祝日、年末年始休業を除く)

※Webで申し込み場合は、プロメトリックIDを取得する必要があります。

- ・受験料 12,600円（税込）
- ・試験時期 各試験センターの会場で随時受験することができます。

●株式会社オデッセイ（学生・教職員）

URL <http://mta.odyssey-com.co.jp/exam/>

※一定の条件を満たす学校の学生・教職員が対象です。条件の詳細はホームページで確認してください。

※申し込みには受験者IDが必要です。

- ・受験料 7,350円（税込）
- ・各試験センターの会場で随時受験することができます。

MTAの問い合わせ先

MTA制度のおよび受験後の認定証の取得に関する詳細はマイクロソフトのWebサイトを参照してください。

・日本マイクロソフト認定プログラム事務局 MS-Learning窓口

URL <http://www.microsoft.com/ja-jp/learning/mta/>

Tel 0120-77-2057(9:00～17:30、土日祝日、指定休業日を除く)

本書の活用方法

本書はカテゴリ別に分類された、問題と解答で構成されています。

●問題

本書の問題は「MTA Windowsオペレーティングシステムの基本事項」試験合格に必要な知識を効果的に学習することを目的に作成したものです。解答してください、合格レベルの実力が身に付きます。また、MTA試験に想定されるさまざまな出題パターンにも対応しています。

問題文をよく読んで、主旨にあった解答を選択します。正解が複数ある問題も含まれています。

選択問題

13. サービスアカウントとして既定で存在するアカウントはどれですか。適切なものをすべて選択してください。

- A. Network Service
- B. ローカルアカウント
- C. ローカルシステムアカウント
- D. Local Service

→ P53 ←

チェックボックス

確実に理解している問題のチェックボックスを塗り潰しながら問題を進めれば、2回目からは、不確かな問題だけを、効率的に解くことができます。すべてのチェックボックスが塗り潰されれば、合格は目前です。

解答ページ

問題の右下に、解答ページが表示されています。ランダムに問題を解くときも、解答ページ探しに手間取ることがありません。

ドラッグアンドドロップ問題

22. 新しいパーティションを作成する操作として、選択肢を適切な順序に並び替えなさい。

- A. [ディスクの管理] をクリックする
- B. ウィザードでファイルシステムなどを指定してフォーマットする
- C. [コンピューターの管理] を開く
- D. 未割り当ての領域を右クリックして [新しいシンプルボリューム] をクリックする

① ② ③ ④

→ P125 ←

適切な解答になるように、選択肢をドラッグアンドドロップで並び替えます。

●解答

解答には、問題の正解やその理由だけでなく、用語や重要事項などが詳しく解説されています。

解説（用語）

重要な用語は、太字で表記されています。

12. B → P16

Windows展開サービス (WDS : Windows Deployment Service) はWindows Serverの標準機能のひとつです。事前に作成したWindows 7のイメージをネットワーク経由で展開先のコンピューターに流し込むことができ、企業内におけるWindows 7のライトタッチインストールを実現することができます。

事前にWindows 7のイメージファイルと応答ファイルを作成しておきます。応答ファイルは、セットアップウィザードの質問に関する答えをまとめたファイルです。それらを展開サーバーに格納して展開を開始したあとは、展開先のコンピューターに電源を入れて **F12** キーを押す必要があります **(B)**。この起動方法をPXE (Preboot eXecution Environment) ブートといいます。これにより、展開先コンピューターはWindows展開サーバーに接続し、展開イメージと応答ファイルなどを取得します。その後、応答ファイルの内容に基づいて自動インストールが始まります。

【Windows展開サービスによる展開】

展開先のコンピューターでは、Windows 7のインストールメディアの挿入や応答ファイルの選択を行う必要はありません (A, C)。

解説（選択肢）

正解である選択肢は**B**や**(B)**のように、不正解である選択肢はAや (A) のように表記し、それぞれの根拠を表示しています。

目次

はじめに	3
MTAについて	4
「MTA Windowsオペレーティングシステムの基本事項」 の試験トピック	6
受験申し込み方法	7
MTAの問い合わせ先	7
本書の活用方法	8

第 1 章 インストールおよびアップグレード

問題	14
解答	19

第 2 章 オペレーティングシステムの構成

問題	36
解答	41

第 3 章 アプリケーション、ツール、リモート管理の構成

問題	60
解答	65

第 4 章 デバイスとプリンターの管理

問題	86
解答	90

第 5 章	ディスクおよびデータの管理	
	問題	110
	解答	116
第 6 章	システムの保守とセキュリティ保護	
	問題	140
	解答	145
第 7 章	システムの保護と復元	
	問題	168
	解答	173
第 8 章	総仕上げ問題	
	問題	190
	解答	201
	索引	234

第

1

章

インストールおよび アップグレード

- エディション
- システム要件
- クリーンインストール
- アップグレードインストール
 - インストール手法
 - 互換性ツール
 - データ移行

1. Windows 7のエディションとして存在しないものはどれですか。

- A. Ultimate
- B. Professional
- C. Standard
- D. Home Premium

→ P19

2. BitLockerが利用できるエディションはどれですか。

- A. Professional
- B. Home Basic
- C. Enterprise
- D. Starter

→ P20

3. 32ビットOSと64ビットOSの違いに関する説明として適切なものはどれですか。

- A. 64ビットOSではより多くのメモリをサポートする
- B. 64ビットOSのほうが多くの機能を備えている
- C. 32ビットOSのほうが軽くて高速である
- D. すべてのエディションに32ビットと64ビットの両方が提供されている

→ P20

4. 32ビットのWindows 7において、メモリ容量の最小システム要件として適切なものはどれですか。

- A. 512MB
- B. 1GB
- C. 2GB
- D. 4GB

→ P21

5. 現在、Windows Vista Businessエディションを使っており、Windows 7へアップグレードインストールしたいと考えています。利用可能なアップグレードパスはどれですか。

- A. アップグレードインストールできない
- B. Professionalのみ
- C. ProfessionalとEnterprise
- D. ProfessionalとEnterpriseとUltimate

→ P22

6. Windows Vista EnterpriseエディションからWindows 7 Enterpriseエディションへアップグレードインストールしようとしたのですが、エラーが出て失敗してしまいました。考えられる原因はどれですか。

- A. アップグレードパスが適切でない
- B. OSのビット版の数値が異なっている
- C. インターネットに接続されていない
- D. 上記のどれも当てはまらない

→ P22

7. 現在使用しているWindows 7のエディションやビット版の数値はどこから確認することができますか。

- A. タスクマネージャー
- B. デバイスマネージャー
- C. パフォーマンスモニター
- D. システム

→ P23

8. 現在使用している既存のコンピューターに、Windows 7がインストール可能か調べる必要があります。利用するツールとして適切なものはどれですか。

- A. Windows Anytime Upgrade
- B. Windows Update
- C. Windows Upgrade Advisor
- D. Windows Anytime Advisor

→ P24

9. 現在、Windows 7 Home Premiumエディションを使っていますが、さらに多くの機能を利用したいため、Windows 7 Ultimateエディションへのアップグレードを検討しています。利用するツールとして適切なものはどれですか。

- A. Windows Anytime Upgrade
- B. Windows Update
- C. Windows Upgrade Advisor
- D. Windows Anytime Advisor

→ P25

10. Application Compatibility Toolkitはどこから入手することができますか。

- A. Windows 7インストールメディア内
- B. Microsoft Download Center
- C. Windows Updateサイト
- D. Windows Server

→ P26

11. Windows 7をゼロタッチインストールによって企業内に展開したい場合に、必要となるものはどれですか。

- A. System Center Configuration Manager
- B. System Center Operations Manager
- C. System Center Virtual Machine Manager
- D. System Center Data Protection Manager

→ P27

12. Windows展開サービスを使ってライトタッチインストールを行う際に、展開先のコンピューターで必要な作業はどれですか。

- A. 応答ファイルを選択する
- B. **F12** キーを押す
- C. Windows 7のインストールメディアを挿入する
- D. 必要な作業はない

→ P28

13. Windows AIKに含まれないツールはどれですか。

- A. ImageX.exe
- B. ユーザー状態移行ツール
- C. MDT
- D. Windowsシステムイメージマネージャー

→ P29

14. Windows XPからWindows 7へデータを移行する際に活用できるツールはどれですか。(2つ選択)

- A. USMT
- B. WDS
- C. ImageX.exe
- D. Windows転送ツール

→ P30

15. USMTの説明として適切なものはどれですか。

- A. 有償のツールである
- B. GUIを使ってウィザードで実行できる
- C. デフォルトでインストールされている
- D. コマンドラインで実行できる

→ P31

16. Windows転送ツールを使って新しいコンピューターに転送する際に、選択できないものはどれですか。

- A. 外付けハードディスク
- B. ネットワーク
- C. 転送ツールケーブル
- D. 赤外線通信

→ P32

17. Windows転送ツールを使って、Windows XPのコンピューターからWindows 7に移行する予定です。ところが、移行元のWindows XPには転送ツールが見当たりません。転送ツールはどのように入手できますか。適切なものをすべて選択してください。

- A. Windows 7のインストールメディア内
- B. Windows XPのインストールメディア内
- C. Windows 7で移行元用の転送ツールを作成
- D. Microsoft Download Center

→ P33

18. Windows転送ツールもしくはUSMTを使って移行する場合に、移行できないものはどれですか。

- A. プログラム
- B. マイドキュメント
- C. 電子メール
- D. お気に入り

→ P34

第 1 章 インストールおよびアップグレード

解 答

1. C

→ P14

Windows 7には以下の6つのエディションが用意されています。

- ・ Starter…………… 初心者や低スペックパソコン向け
- ・ Home Basic …… 一般ユーザー向け、機能限定版
- ・ Home Premium (D) …… 標準的な一般ユーザー向け
- ・ Professional (B)…………… 企業ユーザーや上級一般ユーザー向け
- ・ Enterprise …… ソフトウェアアシュアランス(SA) 契約企業ユーザー向け
- ・ Ultimate (A) …… 上級一般ユーザー向け

エディションによって価格や機能レベルが異なり、この一覧の下にあるエディションのほうが多くの機能を備えています。ただし、EnterpriseとUltimateでは機能面に差はなく、異なる点は提供形態だけです。

また、Home Basicは日本では販売されていません。そのため、日本で入手可能なエディションは、Home Basicを除いた5つのエディションであり、企業においてはProfessionalとEnterpriseのいずれかのエディションが主に使用されています。

Windows 7には、Standardというエディションは存在しません(C)。

2. C

→ P14

Windows 7は、エディションによって機能面に差があります。代表的な機能の違いは以下のとおりです。

【Windows 7のエディションと機能】

	Starter	Home Basic	Home Premium	Professional	Enterprise	Ultimate
ホームグループ	○	○	○	○	○	○
モビリティセンター	×	○	○	○	○	○
Windows Aero	×	×	○	○	○	○
ドメイン参加	×	×	×	○	○	○
XP Mode	×	×	×	○	○	○
BitLocker	×	×	×	×	○	○
AppLocker	×	×	×	×	○	○

BitLockerというデータ保護機能が利用可能なエディションは、EnterpriseとUltimateのいずれかに限られます（C）（第6章解答15を参照）。

下位のエディションで利用可能な機能は上位のエディションに包含されています。たとえば、Enterpriseは、Professionalで利用可能なすべての機能に加えて、BitLockerなどの機能を備えています。

各機能の詳細は後述します。

3. A

→ P14

多くのメモリをサポートできることが、64ビットOSの特徴です（A）。32ビットのWindows 7の場合にはサポートされるメモリの上限は3.5GBですが、64ビットの場合には最大で192GBのメモリをサポートすることができます。そのため、多くのメモリを必要とする処理に対応したい場合には、64ビットのWindows 7を選択します。

Windows 7では、Staterエディションは32ビット版のみですが、それ以外のすべてのエディションで32ビット版と64ビット版の両方を提供しています（D）。ただし、プログラムによっては64ビットOSでは動作しないものもあるため注意が必要です。

利用可能な機能はOSのエディションによって異なります。ビットの違いによるものではありません(B)。また、コンピューターの処理速度はプロセッサの性能やメモリの構成に依存するため、ビット版の違いによるものではありません(C)。

4. B

→ P14

Windows 7の最小システム要件は以下のとおりです。

【Windows 7の最小システム要件】

	32ビット	64ビット
CPU	1GHz	
メモリ	1GB	2GB
HDD	16GB	20GB
グラフィック	Windows Display Driver Model (WDDM) 1.0以上のドライバーで稼働するDirectX 9対応グラフィクスデバイス	

メモリについては、32ビットでは1GB以上が(B)、64ビットでは2GB以上が必要です。ビット版に応じてシステム要件に違いがあるため注意が必要です。また、利用する機能によっては追加の要件が必要になるものもあります。主な機能の追加要件は以下のとおりです。

- ・ 解像度によっては、ビデオを再生するための追加メモリや高速グラフィックスハードウェアが必要になる場合がある
- ・ Windows TouchおよびWindows Tabletには、指定のハードウェアが必要
- ・ ホームグループには、ネットワークおよびWindows 7を実行するコンピューターが必要
- ・ DVDまたはCDの作成には、互換性のある光学式ドライブが必要
- ・ BitLockerにはTPM1.2(第6章解答16を参照)かUSBフラッシュドライブが必要
- ・ BitLocker To GoにはUSBフラッシュドライブが必要

OSのインストールには、クリーンインストールとアップグレードインストールという2種類の選択肢があります。**クリーンインストール**とは、新規にインストールを行うことです。一方、**アップグレードインストール**とは、コンピューターに上書きインストールを行うことで、既存のWindows環境を引き継ぐことが可能です。

既存のコンピューターで実行しているOSをWindows VistaからWindows 7に変更したい場合には、アップグレードインストールが利用できますが、Windows Vistaのエディションによってアップグレードパスが決まっているため、注意が必要です。

Windows VistaからWindows 7へのアップグレードパスは以下のとおりです。

【Windows VistaからWindows 7へのアップグレードパス】

OS	エディション	アップグレード先のWindows 7			
		Home Premium	Professional	Enterprise	Ultimate
Windows Vista	Home Basic	○	×	×	○
	Home Premium	○	×	×	○
	Business	×	○	○	○
	Enterprise	×	×	○	×
	Ultimate	×	×	×	○

Windows Vista Businessエディションを使っている場合には、Windows 7のProfessional、Enterprise、Ultimateのいずれかにアップグレードインストールすることが可能です (D)。

アップグレードインストールが利用できない場合にはクリーンインストールを行い、既存のコンピューターからデータを移行する必要があります。Windows XPからWindows 7へのアップグレードインストールのパスは用意されていないため、クリーンインストールが必要です。

Windows Vista EnterpriseエディションからWindows 7 Enterpriseエディションへのアップグレードインストールは、アップグレードパスとしては適切です (A)。アップグレードインストールを行う際には、エディションのアップグレードパスが適切であることと、既存のOSとアップグレード先のOSでビット

版が一致していることが必要です。たとえば、32ビット版のWindows Vistaを実行しているコンピューターでは、64ビット版のWindows 7にアップグレードインストールすることはできません (B)。そのため、アップグレードインストールを行う前に、既存のWindows Vistaのビット版の数値を確認してください。

アップグレードインストールを行うにあたって、インターネット接続は必須ではありません (C)。ただし、インターネットに接続していると、必要な更新プログラムの確認も同時に行うことができます。

7. D

→ P15

コンピューターにインストールされているOSのエディションやビット版などの詳細情報は、**システム**で確認することができます (D)。システムは[スタート]メニューの[コンピューター]を右クリックして[プロパティ]を選択することで表示できます。

【システム】



タスクマネージャーでは、[ヘルプ] タブでOSの種類やエディションを確認することができますが、ビット版の数値までは確認できません (A)。デバイスマネージャーやパフォーマンスモニターも同様です (B、C)。

Windows Upgrade Advisorを使うと、既存のコンピューターにWindows 7をインストールできるかどうかを調べることができます (C)。既存のコンピューターにWindows 7をインストールして利用したいと考えているユーザーに有益なツールです。このツールは、Microsoft Download Centerからダウンロードすることができます。

【Windows 7 Upgrade Advisorの実行結果】



Windows Upgrade Advisorを実行すると、既存のコンピューターをスキャンし、接続されているデバイスやハードウェア、インストールされているソフトウェアを調査して、Windows 7との互換性の有無やシステム要件のチェック結果を画面に表示します。互換性がない場合やシステム要件を満たさない場合には、その対処法などを通知します。

Windows Anytime UpgraderはWindows 7の下位エディションから上位エディションにアップグレードするためのツールです (A)。Windows UpdateはWindowsの更新プログラムをダウンロードする機能ですが、Windows 7がインストール可能かを調べることはできません (B)。Windows Anytime Advisorというツールは存在しません (D)。